

山下塾第4弾

山下 輝男

第1回 我が国のテロ対策の現状と課題

開講に当たり

山下塾第4弾として、「我が国のテロ対策の現状と課題」をテーマに皆様と共に色々と考えてみたいと思います。概ね月一回を基準に配信したいと考えています。

各界の主要テーマは次のように考えています。

- 第1回 テロの概念と内外のテロ事件の概要
- 第2回 我が国のテロ対策全般
- 第3回 国民保護法とテロ
- 第4回 核セキュリティ、バイオテロ等
- 第5回 サイバーテロ
- 第6回 その他のテロ対策、テロ対処部隊等
- 第7回 国際テロ対策
- 第8回 我が国のテロ対策の課題（脅威と課題1～3）
- 第9回 我が国のテロ対策の課題（課題4～7）
- 第10回 我が国のテロ対策の課題（課題8～10）及び終りに

第1回 講座

1 テロの概念

テロとは何でしょうか？テロと犯罪は違うのでしょうか？反体制派から見ればテロは正義なのでしょうか？テロとの戦いと云われますが、テロは戦争なのでしょうか？定義化の試みが種々なされているようですが、未だに確定されてはいません。立場によって色々な思惑が交錯しているからに他なりません。我が国の関係法令から判断すれば、下記スライドのような事が云えるのではないのでしょうか？政治上の目的を達成する為、不安や恐怖心を掻き立てるべく、対象を殺傷する或いは破壊する行為と云えるでしょう。グローバル化によりテロの手段も多様になり、普通の隣人がある日突然にテロリストに豹変することも在り得るのでしょうか。日本人の多くはテロは外国から入ってくるものだと思っているのではないのでしょうか？

特定国家或いは準国家の積極或いは消極的関与がある場合にはテロと云ってもいいのではないのでしょうか？何れにしてもテロというのは意外に捉え所がないということが解って頂けたでしょうか。

テロの概念



- ・ 定義化の試みあるも、策定に至らず
- ・ 自衛隊法、警察庁法等での定義に共通事項（政治上等の目的、不安・恐怖、殺傷・破壊）
- ・ 特定国家の積極・消極的関与
- ・ テロは戦争か
- ・ 想定外テロ（ブラック・スワン理論）
- ・ グローバル化による脅威の拡散
- ・ ホームグロウンテロリストやLone Wolf
- ・ テロは外国からのみか？

2 日本におけるテロの定義について

幾つかの法律に「テロ」と考えられる語彙の定義があります。法律の目的によりニュアンスの違いがあるようですが、本稿では自衛隊法の定義を紹介しましょう。隊法81条の2 は自衛隊の警護出動に関する条項ですが、そこでは下記スライドの様に示されています。

テロの定義



○日本

警察庁組織令、公衆等脅迫目的の犯罪行為・
法律、自衛隊法、公安調査庁等

○政治上その他の主義主張に基づき、国家若しくは他人にこれを強要し、又は社会に不安若しくは恐怖を与える目的で多数の人を殺傷し、または重要な施設その他の物を破壊する行為(自衛隊法81条の2第1項)

3 日本におけるテロ事件等

日本で起きたテロと云えば、平成7年3月の地下鉄サリン事件を思い出される方も多いことでしょう。斯く云う私は当時陸自中部方面総監部の防衛部長で阪神淡路大震災対応に当たっていましたが、我が管内でも幾つかの異臭事件があり、対応に追われたものでした。また、私共の年代の者にとっては左翼過激派が起こした事件は忘れる事ができない事柄です。北朝鮮による拉致も一種のテロなのでしょう。

また、最近ではサイバー攻撃も頻発しており、サイバーテロの様相を呈しつつあるのではないのでしょうか？更には海外において日本人がテロに巻き込まれる事案も起きており、本年1月のアルジェリア人質拘束事件では、日本人10名もの尊い人命が奪われました。

日本のテロ事件の概要と地下鉄サリン事件を下記スライドで示します。

日本のテロ事件等



①宗教原理主義者(カルト)

オウム真理教事件(1989～1995)

(オウム3大事件:坂本弁護士一家殺害、松本サリン、地下鉄サリン事件)

②民族主義者(主として戦前)

③左翼過激派(1970～2001)

あさま山荘事件、ハイジャック事件、火炎瓶・迫撃弾・パイプ弾等)

④右翼過激派(戦前～2008)

⑤日本人拉致事件

⑥サイバー、その他

地下鉄サリン事件等では、純度がさほど高くないとは云え、化学兵器に使用される神経ガスサリンが初めて使用されました。想定外の事態に無防備で救助活動をせざるを得ず、痛ましい二次被害が起きたのです。

サリン事件の反省から消防や警察に特殊武器対処用の装備が配備され新たな部隊を創設されました。その概要は、追って説明します。

地下鉄サリン事件



- ・ オウム真理教による史上初の神経ガス“サリン”を使用したテロ事件
- ・ 1995(H7)3月20日AM8時頃
- ・ 地下鉄丸の内・日比谷・千代田線の5車両
- ・ 13人死亡、約6,300人負傷
- ・ 救急隊員135名、警察官多数が二次被害
- ・ 自衛隊の化学部隊等が出動



日本に対するサイバー攻撃等の状況は下記スライドの通りです。サイバー攻撃の怖さは、2010年7月のイラン核関連施設の制御システムへのSTUXNET攻撃と云わるものでしょう。日本に対する攻撃では標的型と云われるものが増えてきているようです。

サイバー攻撃・テロ等



- ①2010/7: イラン核関連施設「stuxnet」攻撃
- ②2011/4: ソニー、個人情報大量流出
- ③2011/7,8: 衆・参議員のID,PW流出
- ④2012/8: 三菱重工への攻撃(標的型攻撃)
- ⑤2011/9: 人事院等への攻撃(DDoS攻撃)
- ⑥2012/1: WEBサイトの改竄事件
以上は中国「紅客連盟」か?
- ⑦2013/5: ヤフー日本法人ハッキング被害
- ⑧2013/8: サイバー攻撃やり取り型急増(日経電子版)
- ⑨2013/9 紅客連盟サイバー攻撃予告

標的型攻撃メールとは
情報窃取を目的として特定の組織に送られるウィルスメール

海外でテロに巻き込まれたケースとしてアルジェリア人質拘束事件を見てみましょう。

アルジェリア人質拘束事件



- ①アルジェリアイナメナス天然ガス精製プラント
(BP等の合併企業、日揮参加)
- ②2013/1/16日～19日
- ③アルカイダ系イスラム聖戦士血盟団
- ④日本人10人を含む37人が死亡
- ⑤アルジェ軍が警備・応戦、軍が包囲・攻撃し、
制圧して作戦終了
- ⑥アルジェ政府に対する要請
警視庁: 国際テロリズム緊急展開班の派遣
アフリカ配置防衛駐在官2名のみ(情報収集に難)
邦人保護や在外邦人の輸送の在り方
官民連携等

4 外国におけるテロ事件等

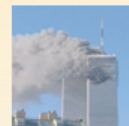
ある統計によれば、年間世界で発生したテロ事件は、10,000件を上回っており、2011年の被害者は70ヶ国45,000人である。テロ発生件数の35%が爆発物使用事件であるとも言われている。この数字に驚かれる方も多いのではないのでしょうか? 日本人はテロを対岸の火事視しているのではないのでしょうか?

9. 11米国同時多発テロ事件以降の主要なテロを下記スライドに示しています。記憶に新しいところでは、100年以上の歴史ある有名なボストンマラソンにおけるフィニッシュ地点付近における爆発テロ事件ですね。2020年の東京オリンピックは大丈夫でしょうか?

外国における主要テロ事件等



- ①9.11米国同時多発テロ & 炭疽菌事件
- ②2002/10: バリ島爆弾テロ
- ③2003: イラク日本外交官2名襲撃死亡
- ④2004/5: スペイン同時多発列車爆破事件
- ⑤2005/7: ロンドン地下鉄爆破テロ
- ⑥2006/7: インドムンバイ同時列車爆破
- ⑦2007/12: プット元首相銃撃・爆破
- ⑧2009/12: 米旅客機テロ未遂
- ⑨2010/5: タイムズスクエア爆弾テロ未遂事件
- ⑩2013/4: ボストンマラソン爆発事件



これらのテロの脅威に対して、国際社会は手を拱いていた訳ではありません。国連安保理で真摯な議論が行われ、且つ又次回説明しますがテロ防止関連13条約を結びました。

サイバー空間での脅威は正にサイバー戦争と呼んでも良いのではないのでしょうか？
核物質や生物剤によるテロが起きる可能性は否定できないですね。

外国におけるテロ事件総括



- ①9.11以降テロとの戦い鮮明に
- ②テロ手段の多様性、予測困難性
 - テロの30%強が爆発物使用事件
 - アルカイダ系の脅威が深刻
- ③国連安保理の対応
 - ・各国は管轄権の設定義務
 - ・委員会の設置(アルカイダ・タリバン制裁委員会、反テロリズム委員会等)
- ④サイバー戦争の様相顕著
- ⑤未生起である重大な「核&生物兵器テロ」



第一回講座を終わります。
次回は、我が国のテロ対策全般についてお話し致します。乞うご期待。

お勧め記事：[防衛駐在官と危機管理](#)

キーワード▶ [アルジェリア人質拘束事件](#)・[サイバー攻撃](#)・[テロ](#)・[テロ対策](#)・[地下鉄サリン事件](#)

いいね！0

[INDEXへ戻る](#)

次の記事 [山下塾第4弾 第2回 我が国のテロ対策の現状と課題](#)

[ページの先頭へ](#)

[関連サイト](#)

[防衛省](#)

[統合幕僚監部](#)

[陸上自衛隊](#)

[海上自衛隊](#)

[航空自衛隊](#)